



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News Vol.13  
December 1, 2000

## ➤ PNGニューアイルランド島地震・津波：試された津波防災教育

### □ ニューアイルランド島付近で地震・津波発生

パプアニューギニア（PNG）のニューブリテン島東部からニューアイルランド島南部に及ぶ地域において現地時間 11 月 16 日午後 2 時 54 分から 19 日午後 0 時 45 分にかけて少なくとも 6 回の地震が発生しました。地震の規模は速報値ですが、最初の地震が M8.0、次が M7.7 及び M7.3 とされています（USGS 地震情報センター）。これらの地震のために津波が発生し、ニューブリテン島ラバウルでは 1 m 程度の津波が観測されました（ラバウル検潮記録）。



### □ 被害状況

しかし、これまでに確認された PNG 政府など関係機関の情報を総合すると、一連の地震により家屋が倒壊し、少なくとも 1 名が死亡、電柱の倒壊、崖崩れ、道路破壊、通信不通、送電停止、商品・家財の落下などが発生しています。また、津波による被害は、ラバウルやココボのスーパーマーケットでの浸水被害があったほか、ニューアイルランド島及びブーゲンビル島でも津波によるとみられる家屋の倒壊があり、数千もの住民が家を失ったとも伝えられています。被害については引き続き現地調査の動向を冷静に見守る必要があるでしょう。

### □ すばやい避難は防災教育の成果

今回の津波による被害は、地震の規模の割には小さいものとなった可能性が高いといえます。これは、地震が横ずれによるもので、襲来した津波の規模が比較的小さかったこともあり、太平洋津波警報センターの津波警報（地震直後発令。大規模の津波はないとして後刻取り消し）による関係機関の警戒、とりわけ「地震による津波来襲を予想した住民の迅速な避難行動」の結果と考えられます。実際、ラバウル火山観測所によれば、最初の地震直後、付近住民はすばやく

高台などに避難し、津波による被害を回避していました。1998 年のアタペ津波の際には、地震後海岸で海をみている人がいましたが、今回はそのようなことはありませんでした。規模は小さくとも津波は人命を奪いますが、今回は「すぐ避難せよ」の教訓が生かされたといえます。

### □ PNG の経験と教訓を生かそう

前号で報告した通り、ADRC は PNG 政府と協力し津波防災パンフレットを作成配布しています。今回津波による人的被害が防げたとすれば、それは PNG 官民が一体となって 1998 年のアタペ津波以来「PNG における津波文化の徹底」に向けて取り組んできた真摯かつ多様な努力の成果といえます。特別番組のテレビ放映、ビデオ制作、ポスターや専門誌の配布、学校での防災教育に加え、上記の津波防災パンフレット活用など、一連の防災教育活動が役立ったことは貴重な経験及び教訓であり、今後関係国においても是非検討実施していただきたいと思えます。

（主任研究員 日下太一）

## ➤ アジアにおける最新災害情報

### □ 東南アジア各地で豪雨による被害が拡大

2000 年 11 月 19 日ごろから降り続けている激しい雨は、マレーシア北部、タイ南部、インドネシア北部で洪水や地すべりをもたらし、甚大な被害を与えています。

マレーシアでは、東北部の Terengganu と Kelantan 地域で広範囲にわたって浸水し、およそ 12 人が亡くなりました。また、8000 人以上の人々が避難し、現在もまだ多くが避難生活を続けています。マレーシアと国境を接するタイ南部の Hat Yai においても同様に、洪水による大きな被害が出ています。多くの地域が 0.5 メートルから 2.5 メートルも浸水し、50 人余りが死亡しました。

さらに、インドネシア北部のスマトラ島では、西スマトラとアチェの 2 つの地域で、11 月 25 日に洪水に加えて地すべりが発生し、公式な発表はまだないもののおよそ 100 人が亡くなったと報告されています。

この激しい雨は、ヴェトナム、ラオスなどの地域各地でも被害を与えています。

（11/24 & 27 OCHA Situation Report など）

### □ スリランカで洪水被害

東南アジアで大規模な被害を与えている豪雨は、南アジアのスリランカでも多くの被害を与えました。2000 年 11 月 19 日から 20 日にかけて激しく降った雨は、コロombo の東 350km に位置する Ampara、Batticaloa などの東部地域で洪水を引き起こし、15,000 世帯が家を失い、耕作地も大きな損害を受け、多くの道路が通行止めとなりました。

（11/21 OCHA Situation Report など）

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 1HDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行（予定）